

第32期 第2回 理事会 議事録

日時：2021年5月30日（水）10:30~13:05

場所：Zoom（オンライン会議）

出席者（50音順、敬称略）：浅海、荒木、江口、加藤、楠本、久保、坂本、佐藤、中谷、西、樋上、深井、本田、増田、守田、山下、山瀧、山本、清水（オブザーバー）、堀江（オブザーバー）、荒武（記）
欠席者（50音順、敬称略）：藤野

1. 会長挨拶（西）

- ・第1回評議員会を5月1日に開催した。81名にご参加いただき、看護や環境衛生などの多職種から活発な意見交換ができた。事後のアンケートをもとに、今後の活動を進めたい。
- ・4月27日に大学を訪問し、学長、副学長へ新年度のご挨拶をした。大学から、産推研への期待が大きいことを実感した。

2. 大学の近況（堀江）

- ・産業衛生科学科の入試を東京会場でも実施する。同会場での受験生や保護者にPRする場があれば、ぜひ、紹介してほしい。受験生を確保するためのアイデアを募集している。
- ・新型コロナウイルス感染対策の一環として、オンライン講義を全国に先駆けて実施している。
- ・医学部1~3年生は新カリキュラムに移行し、講義時間が90分から50分となり、その分、コマ数が増えた。低学年から総合試験を行っている。
- ・保健師・看護師の国家試験の合格率は100%、医師国家試験も全国9位/80大学、私立2位/29大学と令和3年は高成績であった。
- ・THE世界大学ランキング2021で国内第5位（私立第1位）にランクインした。
- ・「高年齢労働者産業保健研究センター」を設置し、高年齢労働者の増加に伴う労働災害の予防を図り、職業適性を推進する横断的な研究を進めることとしている。
- ・「災害産業保健センター」を設置し、災害産業保健に関する研究、教育コンテンツやマニュアル等の作成、人材育成に取り組むこととしている。
- ・WHOの産業保健分野の協力センターに30年以上継続して指定を更新できている。
- ・首都圏専門的産業医養成支援事業（東京プロジェクト）では、講座やセミナーに他学から多くの参加者があり、高い関心を集めている。
- ・脳卒中血管内科が新設された。
- ・2023年に急性期診療棟が完成予定である。

3. 会計（守田、本田）

- ・年会費は、予算の見込み以上の納入をいただいている。
- ・業務委託分は順調に実施されている。
- ・慶弔や理事の出張などの支出があった。

4. 地方会

1) 関東（坂本）

- ・2021年7月10日、研究会（渋沢栄一の「論語と算盤」で未来を拓く）をオンライン開催予定。
 - ・2022年の全国大会を関東地方会幹事により開催予定。
- 2) 九州（浅海）
- ・2021年10月9日、研究会を第39回産業医科大学学会と共同開催予定（ハイブリッド、ラマツィーニホール）。
- 3) 近畿（深井）
- ・2021年5月8日、第1回近畿保健師会を開催、新入社員研修/フォローの方法について全体討議を行った。また、同会に期待することについて、グループセッションを行った。
- 4) 東海（西）
- ・2021年5月23日、第6回東海ほけんの会をオンライン開催、参加者22名。
 - ・2021年8月21日、第24回研究会（産業保健師としてのキャリア形成）をハイブリッド開催予定。
 - ・2021年9月頃、第6回東海産業保健研究会を開催予定。
- 5) その他
- ・2021年5月21日、地方会長会議を開催、企画に関して、地方会役員、評議員や若手が著名な方を招いてスキルアップのために例会を開く企画提案を理事会に申請した場合、理事会で審議し賛同が得られれば、全会員を対象とした企画として、理事会から助成金を支給する仕組みを作る提案があった。
- 本理事会にて承認された

5. 部会

1) 総務（佐藤、中谷）

- ・事務局の外部委託は順調に進んでおり、従来の会員情報管理などの業務の負担が軽減しており、会則の改正、評議員会の対応、副会長としての業務などに注力できるようになった。

2) 学術（江口、久保）

- ・産業医科大学学会学会賞の産業保健分野の推薦窓口となる。

3) 研修・教育（増田、樋上、楠本）

- ・第33回全国大会の内容を企画している。
- ・年1回の研修・教育を検討する。

4) 広報（荒木、山瀧、山下、山本）

- ・広報用のメールマガジンを検討中。
- ・産推研メーリングリストについて、節度保持、相談窓口、匿名投稿などを検討した。
- ・メーリングリスト以外に、Slack、Teams、Facebookなどの別媒体の活用も検討する。

6. 樺風会（樋上、（代 中谷））

- ・8月21日に総会・懇親会をオンライン開催予定。

7. その他

1) 第1回 評議員会報告（中谷）

- ・5月1日にオンライン開催、119名中81名参加。
- ・産推研の運営に関して、多職種による意見交換を行った。
- ・顔と名前がわかってよかったなどの感想、産推研の発展のための意見、産推研に入会を希望しない人

の理由を聞くべきなどの意見が出された。

- ・各地方会においても、地方会運営についての意見交換を年1回は開催したい。

2) 評議員会設立に関する会則、細則の改定 (佐藤)

・評議員会設置の他、IT 担当追加、所属地方会、会員名簿情報の取り扱いについて本理事会で議論し、承認された。

3) 産業医学推進研究会功績賞 (仮称) の新設 (佐藤)

・会員に対して貢献した活動をした会員あるいはグループを選出し、産業医学推進研究会功績賞 (仮) を贈る。

- ・評議員から候補者 (グループ・団体) を推薦し、理事会の審議で受賞者を選出する。

・大学や学会などの大きな団体からは陽の目は当たりにくいですが、会員に役立つ地道な活動や、医師以外の職種の会員や地方会などの活動などにもスポットライトを当てたい。

・会員のために、ボランティアで活動される方への感謝にもなり、他の会員の励みにもなると考えられる。

- ・上記に関する細則を新規に制定する。

→功績賞の新設、および、上記細則の制定について、本理事会にて承認された

4) 第33回全国大会 (西)

- ・2021年11月27日 (土) 10:00~18:00 で開催。

・会場は、当初予定していた東京駅、神田駅付近から、クロス・ウエーブ府中へ変更となった (ハイブリッド開催)。

以上